

(様式3)

事業所名 なでしこの家

目標達成計画

作成日 平成 22 年 12 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 36 | 個人情報に関するファイルが共有スペースに置かれていた。利用者や来訪者の目に触れる可能性もあり。 | ファイル等の個人情報がわかるものは他の目の触れないところに保管する。 | 個人名を伏せ、イニシャルで表示するとともに、棚にカーテンをつけ見えないようにする。 | 0.2 ヶ月 |
| 2 | 2 | 地域交流会を毎年開催し、チラシ等で参加を謳っているが、参加者が少ない。 | 対象者を段階的に捉え、内容もそれに合わせた物にすることで、少しでもたくさんの方々に足を運んでもらえるように取り組んでいく。 | 今までは、介護予防の体操や介護相談的な内容であった為、対象者が高齢になってしまい、交通手段がなかったりして来る事が出来ないなどの声が聞かれた。交通手段の確保については、法人や包括と話し合いを続けていく。 キャラバンメイトの研修を終えた職員がいるので、婦人会、老人会、子供会など対象者別の開催により、交流する機会をも増やすようにしていく。 | 12 ヶ月 |
| 3 | 35 | 2階建てだが避難経路が1箇所しかないため、2階利用者様の避難経路の確保、避難方法。また、災害時の地域住民の協力体制について。 | 火災、地震を想定しての避難訓練の実施。訓練時は近隣にも声をかけていく。 | 個々の避難誘導の手順についてマニュアルを明確にするとともに、ハード面については法人に相談していく。地域の協力体制については運営推進会議や町内の総会などを通じて常に検討課題としていく。 (目標達成期間についてはマニュアルの明確化と個々の熟知に関してとする。) | 3 ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。